



キセノンアーク灯光又は
サンシャインカーボンアーク灯光を用いた
促進耐候堅ろう度試験方法

JIS L 0891 : 2007

(SWTF/JSA)

平成 19 年 7 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 消費生活技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	小 川 昭二郎	お茶の水女子大学
(委員)	赤 松 幹 之	独立行政法人産業技術総合研究所
	秋 庭 悦 子	社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	大 熊 志津江	文化女子大学
	岡 田 宏	社団法人繊維評価技術協議会
	長 見 萬里野	財団法人日本消費者協会
	加 藤 さゆり	全国地域婦人団体連絡協議会
	加 藤 隆 三	社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	蔵 本 一 也	社団法人消費者関連専門家会議
	小 熊 誠 次	社団法人日本オフィス家具協会
	三 枝 繁 雄	財団法人製品安全協会
	櫻 橋 晴 雄	社団法人日本ガス石油機器工業会
	佐 野 真理子	主婦連合会
	沼 尻 禎 二	財団法人家電製品協会
	長谷川 政 章	株式会社西友
	星 川 安 之	財団法人共用品推進機構
	村 田 政 光	財団法人日本文化用品安全試験所
	矢 野 友三郎	独立行政法人製品評価技術基盤機構
(専門委員)	村 井 陸	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 19.7.20

官 報 公 示：平成 19.7.20

原 案 作 成 者：財団法人スガウエザリング技術振興財団

(〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-4-14 TEL 03-3354-5248)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会（部会長 二瓶 好正）

審議専門委員会：消費生活技術専門委員会（委員長 小川 昭二郎）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文.....	1
1 適用範囲.....	1
2 引用規格.....	1
3 用語及び定義.....	1
4 試験.....	2
4.1 原理.....	2
4.2 試験の種類.....	2
5 装置及び材料.....	3
5.1 耐候試験機.....	3
5.2 ブルースケール.....	11
5.3 変退色用グレースケール.....	11
5.4 ステンレス板.....	11
5.5 灰色下敷及びマスク.....	11
5.6 判定用標準光源.....	11
6 試験片.....	11
7 操作.....	11
7.1 試験機の運転.....	11
7.2 耐候堅ろう度を求める場合の露光方法.....	11
7.3 引張強さなどを求める場合の露光方法.....	15
8 判定方法.....	15
9 試験報告書.....	16
解 説.....	18

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、財団法人スガウェザリング技術振興財団 (SWTF) 及び財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

キセノンアーク灯光又はサンシャインカーボン アーク灯光を用いた促進耐候堅ろう度試験方法

Test methods for fastness to artificial accelerated weathering with xenon arc
lamp light or sunshine carbon arc lamp light

序文

この規格は、繊維製品を対象とする降雨条件下における促進耐候堅ろう度試験方法を定めることを目的とするもので、我が国における製品の品質管理のための試験方法として有効である。

1 適用範囲

この規格は、繊維製品の降雨条件下におけるキセノンアーク灯光及びサンシャインカーボンアーク灯光による促進耐候堅ろう度（以下、耐候堅ろう度という。）試験方法について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS G 4305 冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯

JIS L 0801 染色堅ろう度試験方法通則

JIS L 0804 変退色用グレースケール

JIS L 0809 計器による変退色及び汚染の判定方法

JIS L 0841 日光に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 0886 ホトクロミズムの検出及び評価に対する試験方法

JIS L 1096 一般織物試験方法

JIS Z 8701 色の表示方法—XYZ 表色系及び $X_{10}Y_{10}Z_{10}$ 表色系

JIS Z 8730 色の表示方法—物体色の色差

CIE Pub. No. 85:1989, Solar Spectral irradiance

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

3.1

促進耐候堅ろう度

降雨条件下における人工光源の露光に対する物質の堅ろう度。

3.2

標準退色